

# サブドレン稼働状況について

2020年1月9日  
東京電力ホールディングス株式会社



無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

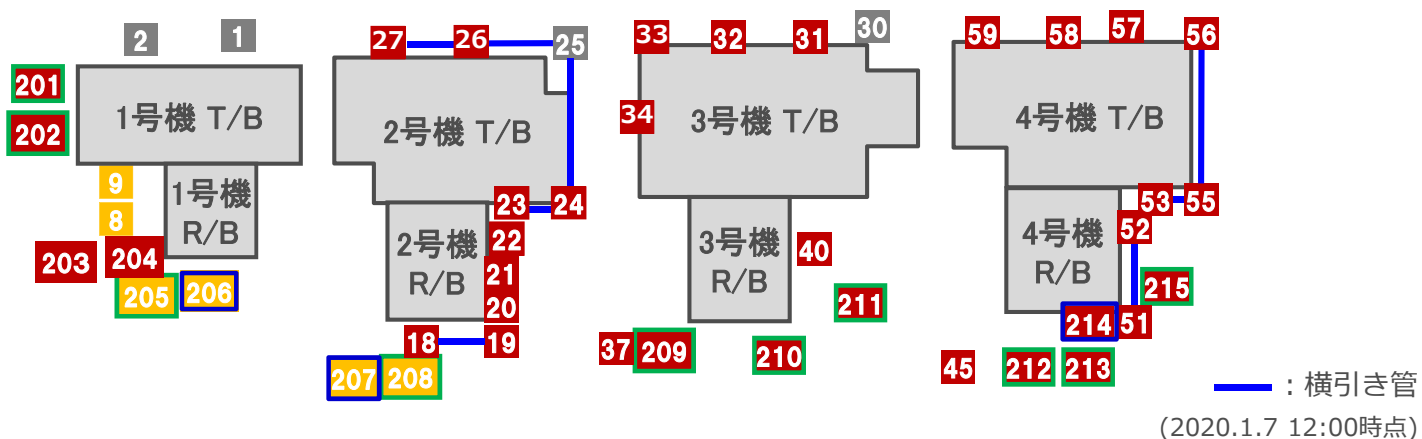
## サブドレン稼働概要

対象ビット	期間	設定値(m)		
		L値	H値(大口徑)	H値(小口径)
周辺ビット	2019/2/1~(中継タンクNo.4, 5系統) <sup>※3</sup>	T.P. 0.95	T.P.1.15	T.P.1.45
	2019/2/14~(中継タンクNo.1~3系統) <sup>※3</sup>	T.P. 0.95	T.P.1.15	T.P.1.45
	2019/12/24~	T.P.0.20	T.P.0.40	T.P.0.70
	2020/1/9~ <sup>※1</sup>	T.P.0.0	T.P.0.20	T.P.0.50
No.205~ No.208	2019/12/5~ (No.205) <sup>※2</sup>	T.P.1.00	T.P.1.2	-
	2019/12/5~ (No.206) <sup>※2</sup>	T.P.0.55	-	T.P.1.05
	2019/12/5~ (No.207) <sup>※2</sup>	T.P.0.55	-	T.P.1.05
	2019/12/5~ (No.208) <sup>※2</sup>	T.P.1.00	T.P.1.2	-

※1 滞留水移送ポンプ要起動水位をT.P.0.25m-塩分補正值⇒T.P.0.15m-塩分補正值, サブドレン設定水位をT.P.0.20m⇒T.P.0.00mへ変更

※2 地盤改良工事後のトリチウム濃度低減効果調査のため, サブドレン設定水位を順次低下予定 (参考5)

※3 地下水の建屋流入量低減のため, 大口徑ビットを対象にH値の設定値を順次縮小予定(参考6)

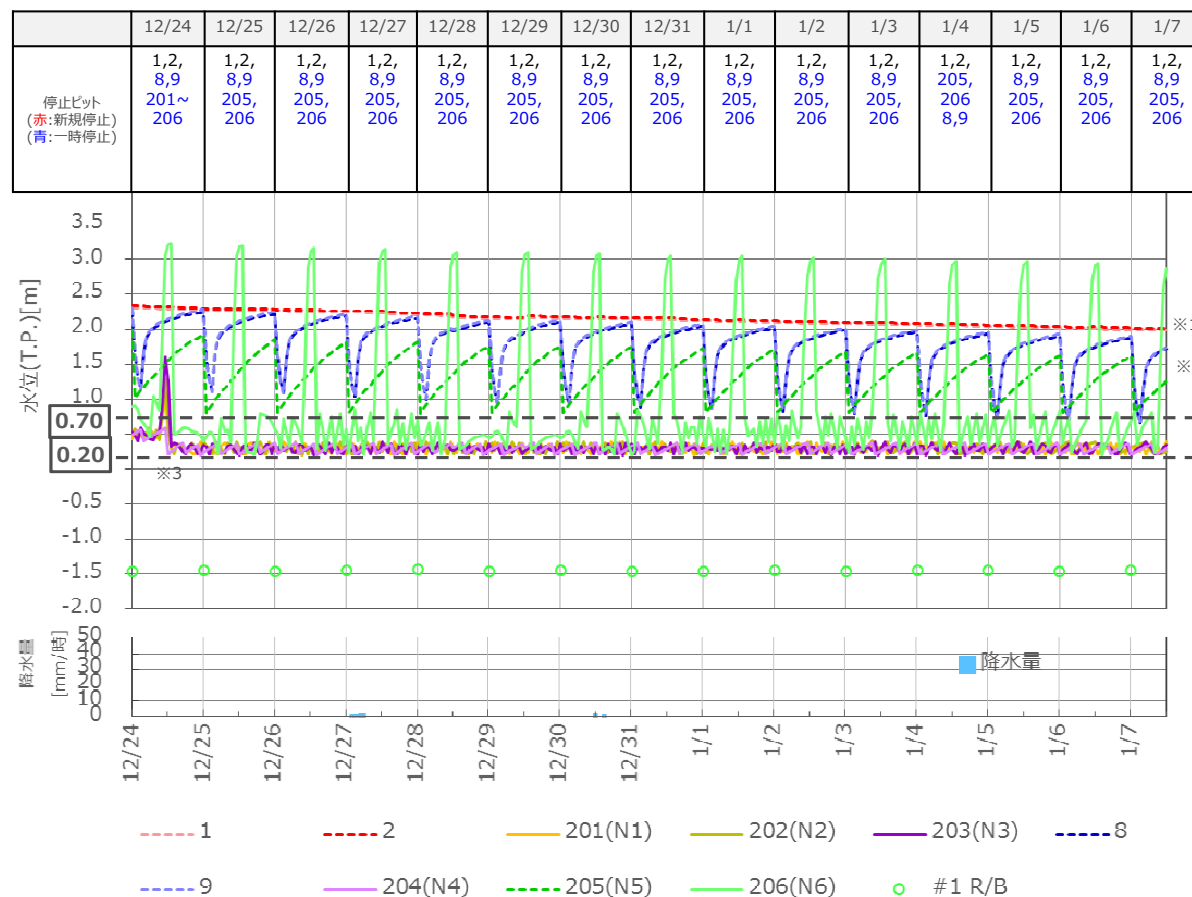


■ : T.P. 0.20mで稼働   ■ : 短時間運転   ■ : 停止中   ■ : 新設ビット(小口径)   ■ : 新設ビット(増強工事により大口徑化)



無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

# 至近の水位変動(1号機)



■	T.P.0.20mで稼働
■	短時間運転
■	停止

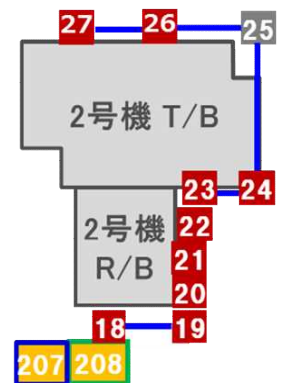
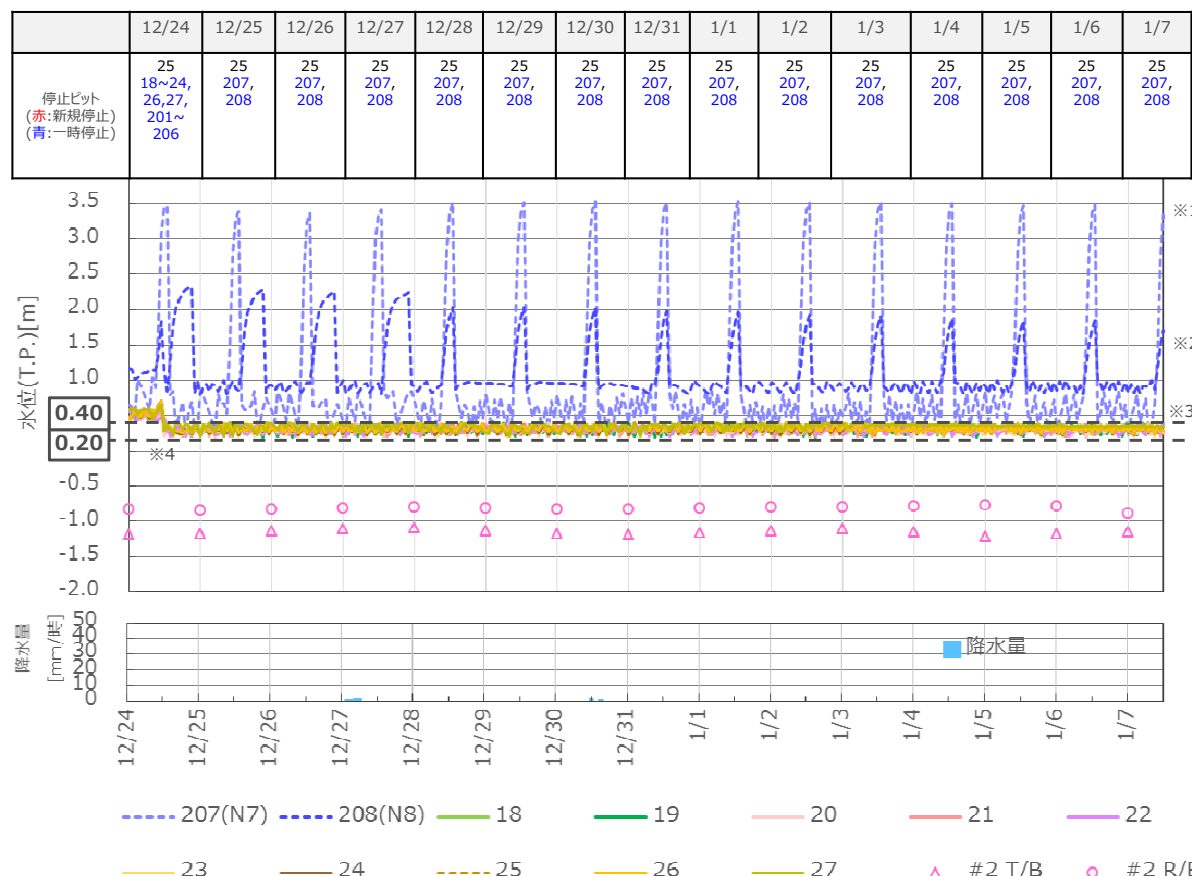
- ※1 No.1,2ビットにおいて全β濃度上昇に伴い停止
- ※2 No.8,9,205,206ビットにおいて1~2号排気筒周辺地盤改良に伴い短時間運転実施
- ※3 周辺レベル値をT.P.0.20mに変更



※サブドレン水位は毎時データ(実線が24時間自動運転のビット)

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

# 至近の水位変動(2号機)



■	T.P.0.20mで稼働
■	短時間運転
■	停止

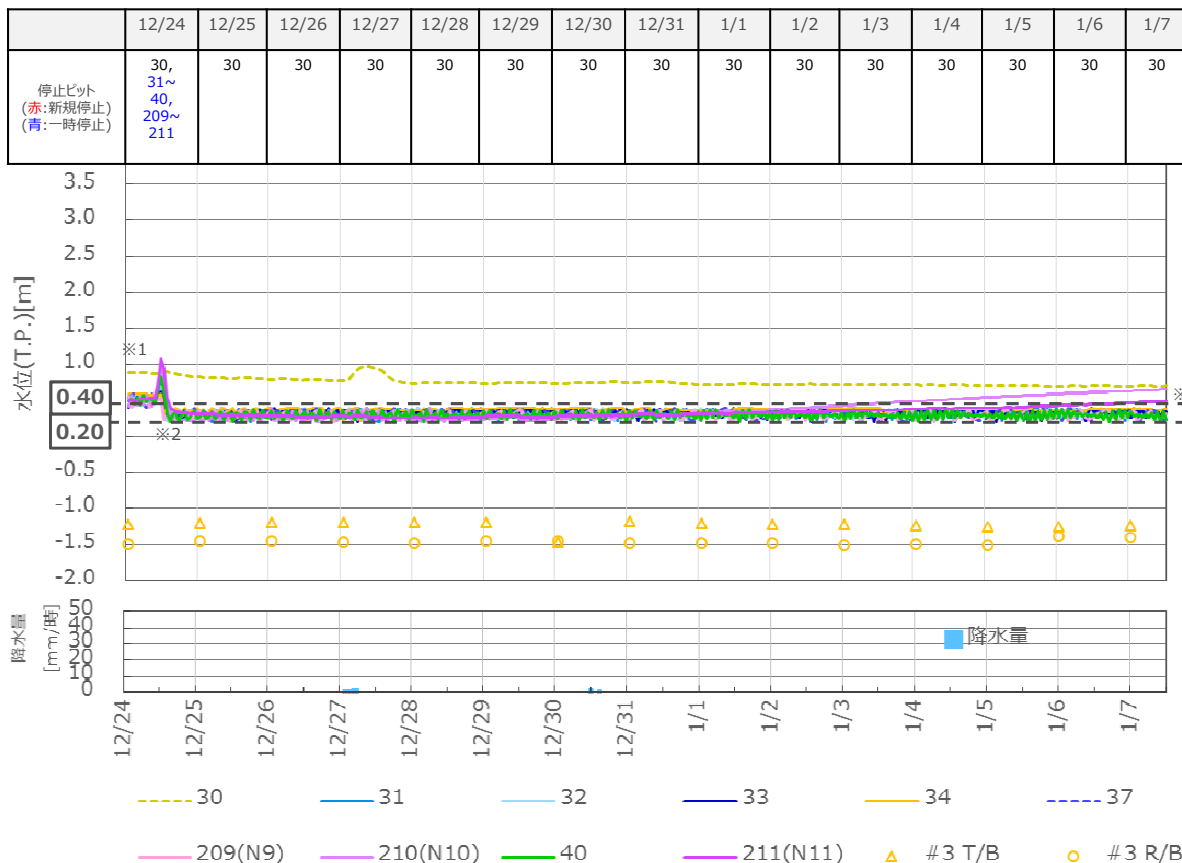
- ※1 No.207ビットにおいて1~2号排気筒周辺地盤改良に伴い短時間運転実施
- ※2 No.208ビット復旧に伴い短時間運転実施
- ※3 No.25ビットにおいて全β・トリチウム濃度上昇に伴い運転停止
- ※4 周辺レベル値をT.P.0.20mに変更



※5 ※サブドレン水位は毎時データ(実線が24時間自動運転のビット)

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

# 至近の水位変動(3号機)



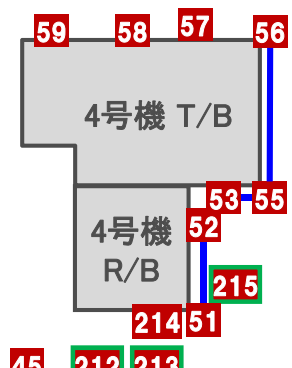
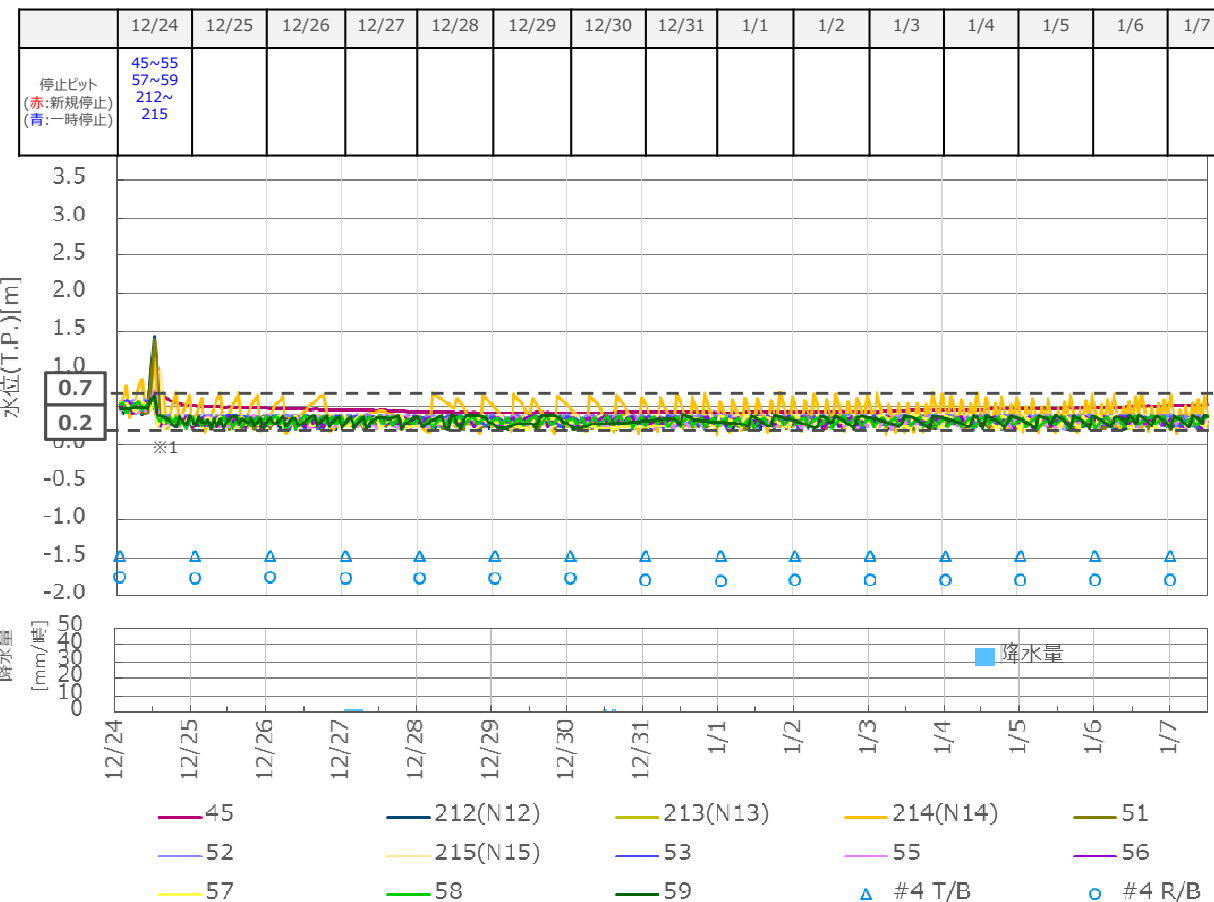
■	T.P.0.20mで稼働
■	短時間運転
■	停止

- ※1 No.30ビットにおいてSr濃度上昇に伴い停止
- ※2 周辺ビット値をT.P.0.20mに変更
- ※3 No.210,211ビット汲み上げ量低下に伴い清掃予定

※サブドレン水位は毎時データ (実線が24時間自動運転のビット)

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

# 至近の水位変動(4号機)



■	T.P.0.20mで稼働
■	短時間運転
■	停止

- ※1 周辺ビット値をT.P.0.20mに変更

※サブドレン水位は毎時データ (実線が24時間自動運転のビット)

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

# 中継タンクくみ上げ量

単位：m<sup>3</sup>

	サブドレン					
	1	2	3	4	5	合計
12/24	40	71	57	168	31	367
12/25	81	80	76	201	58	496
12/26	61	75	67	191	43	437
12/27	58	76	65	187	40	426
12/28	48	72	60	182	39	401
12/29	50	73	62	178	42	405
12/30	50	72	60	173	37	392
12/31	51	71	62	167	38	389
1/1	45	69	55	163	33	365
1/2	46	69	55	159	34	363
1/3	44	69	54	154	34	355
1/4	44	66	52	151	33	346
1/5	41	67	52	148	31	339
1/6	41	65	48	144	32	330
平均						387

前日11時から24時間の汲み上げ量を示す。



無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

# サブドレン水質一覧(2020.1.7現在)

単位：Bq/L

	建屋	ビット	セシウム	セシウム	全β	トリチウム	採取日	
			134	137				
既設ビット	1号機	1	6.1	140	30,000	300	2019.12.20	
			7.1	170	30,000	310	2020.1.3	
		2	5.9	6.3	56,000	280	2019.12.20	
			5.6	6.5	51,000	180	2020.1.3	
		8	5.1	27	33	3,200	2019.12.18	
			3.9	29	27	3,100	2019.12.31	
		9	6.3	46	100	2,900	2019.12.18	
			4.5	34	67	1,800	2019.12.31	
		2号機	18	7	140	160	580	2019.12.18
	7			120	140	560	2019.12.31	
	19		18	300	340	470	2019.12.18	
			20	320	380	500	2019.12.31	
	20		5.8	4.4	11	310	2019.3.7	
			5.1	4.4	26	920	2019.9.17	
	21		3.9	6	14	730	2019.11.20	
			3.9	11	20	950	2019.11.27	
	22		5.2	22	30	1,300	2019.11.20	
			5.6	35	47	1,500	2019.11.27	
	3号機		23	34	500	560	1,800	2019.12.20
				13	210	270	400	2020.1.3
			24	85	1,300	2,000	9,000	2019.12.20
				22	350	500	1,800	2020.1.3
			25	140	2,600	3,100	21,000	2019.12.20
				1,500	2,400	3,400	22,000	2020.1.3
			26	50	890	3,300	1,300	2019.12.20
		99		280	600	740	2020.1.3	
	4号機	27	630	11,000	47,000	2,100	2019.12.20	
			120	2,300	10,000	770	2020.1.3	
		30	490	7,800	13,000	2,600	2019.12.18	
			400	6,700	11,000	2,500	2019.12.31	
		31	4.3	18	510	660	2019.2.21	
			5.0	7	870	320	2019.9.17	
		32	5.2	4.7	11	970	2019.12.6	
			4.6	5.1	11	1,300	2020.1.3	
	5号機	33	4.4	7	12	830	2019.11.20	
			3.6	5.2	11	960	2019.11.27	
		34	4.3	23	26	1,900	2019.11.20	
			4.7	25	33	2,600	2019.11.27	
	37	3.6	3.9	9.9	120	2019.12.18		
		5.2	4.3	11	120	2019.12.31		
40	4.1	7	13	190	2018.10.3			
	10	180	190	210	2019.9.18			

- 赤字は検出限界値未満を表す
- ハッチングは最新値を示す。

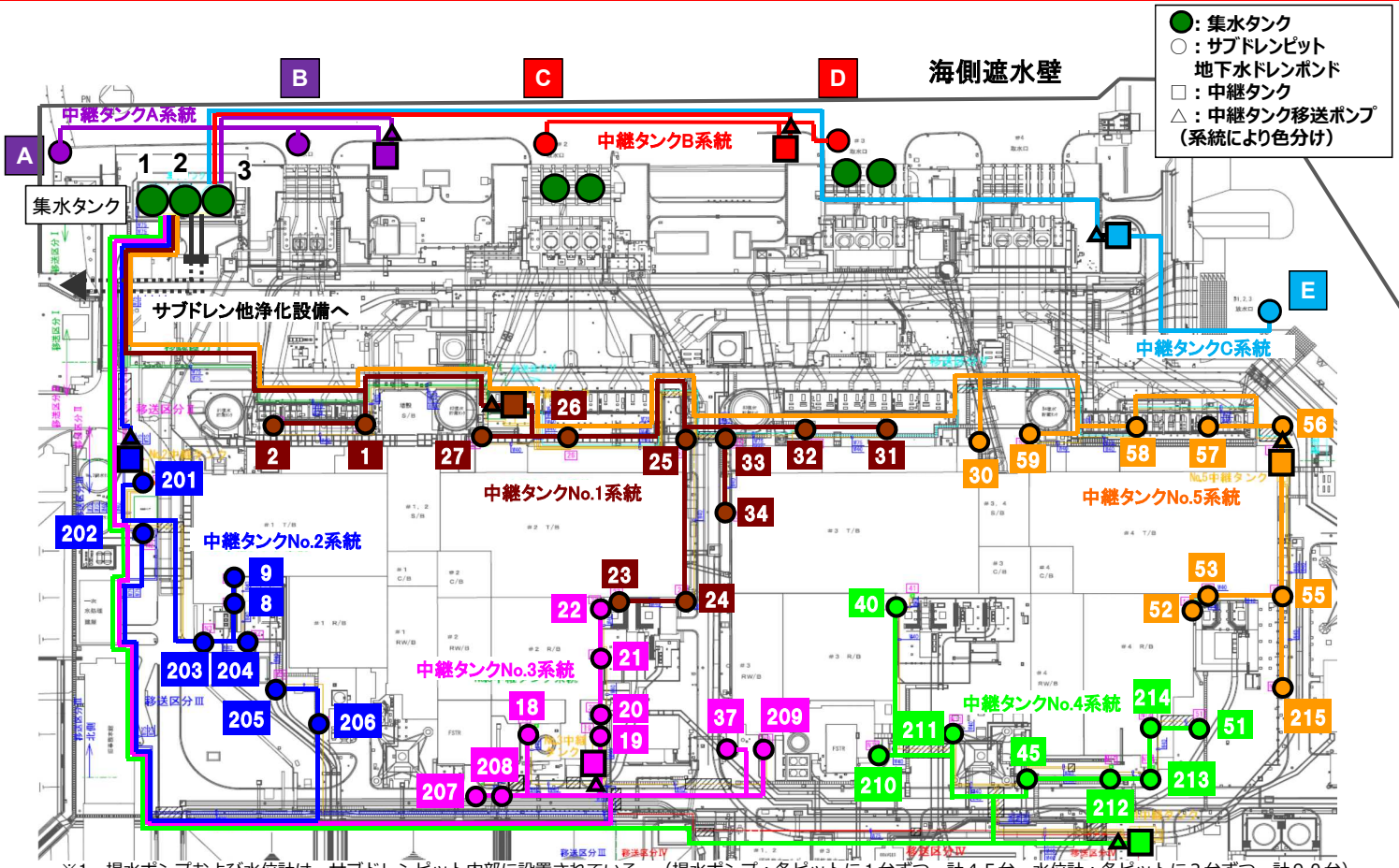
	建屋	ビット	セシウム	セシウム	全β	トリチウム	採取日
			134	137			
既設ビット	4号機	45	4.1	7	12	120	2017.9.28
			2.7	4.7	12	110	2019.9.18
		51	3.3	4.8	12	170	2019.3.14
			4.5	4.4	12	110	2019.9.18
		52	4.5	5.1	11	120	2019.9.19
			4.2	5	10	110	2019.10.25
		53	4.1	5.6	11	120	2019.9.19
			5.3	5	10	110	2019.10.25
		55	4.2	4.4	11	120	2019.9.19
			3.8	4	10	110	2019.10.25
	56	5.0	4.1	11	100	2019.12.6	
		3.0	5.1	11	120	2020.1.3	
	1号機	57	6	5	10	110	2019.12.18
			3.7	4.6	11	120	2019.12.31
		58	4.8	4.4	25	260	2019.9.19
			3.7	5	70	180	2019.10.25
		59	5.0	6.3	50	450	2019.9.19
			3.5	4	37	410	2019.10.25
		201	4.0	4.4	10	890	2019.9.17
			5.1	5.0	8.2	450	2019.10.28
新設ビット	2号機	202	4.6	3.4	10	120	2019.9.17
			3.8	4.2	8.2	120	2019.10.28
		203	3.4	3.9	9.5	120	2019.12.18
			4.2	4.6	11	140	2019.12.31
		204	4.9	4.2	9.4	1,200	2019.12.18
	4.7		5.3	11	1,000	2019.12.31	
	3号機	205	5.3	6	9.4	1,100	2019.12.18
			4.7	5.7	11	3,200	2019.12.31
		206	5.5	3.8	10	9,600	2019.12.25
			4.3	3.9	11	8,600	2019.12.31
207		5.1	13	12	1,400	2019.12.25	
4号機	208	4.9	14	15	1,100	2019.12.31	
		6.1	4.8	11	670	2019.12.23	
	209	3.2	6	11	880	2019.12.31	
		6.0	4.8	8.9	190	2019.11.22	
	210	4.8	4.9	10	190	2019.12.20	
5号機	211	4.3	3.8	12	110	2019.3.14	
		3.9	4.8	12	110	2019.9.18	
	212	4.6	4.4	10	120	2018.1.11	
		4.1	4.7	12	110	2019.9.18	
	213	4.7	4.8	12	110	2019.3.14	
6号機	214	5.9	5.3	12	110	2019.9.18	
		4.3	4.8	12	110	2019.3.14	
	215	2.8	3.4	11	130	2019.9.18	
7号機	216	5.2	11	18	150	2019.11.22	
		3.8	12	25	150	2019.12.20	
8号機	217	4.6	4.0	11	120	2019.9.19	
		5.1	4	12	110	2019.10.25	



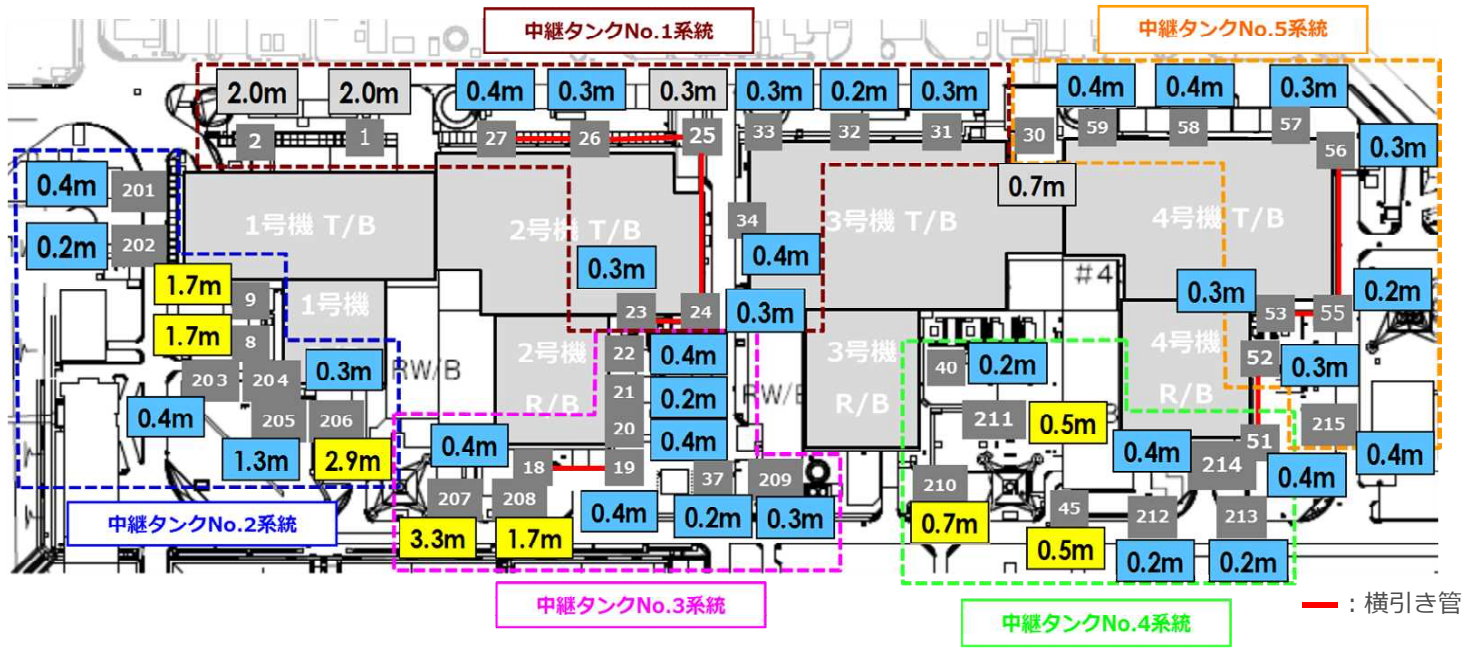
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社



# 【参考1】サブドレン・地下水ドレン 中継タンク系統図



# 【参考2】地下水位の状況について(2020.1.7現在)

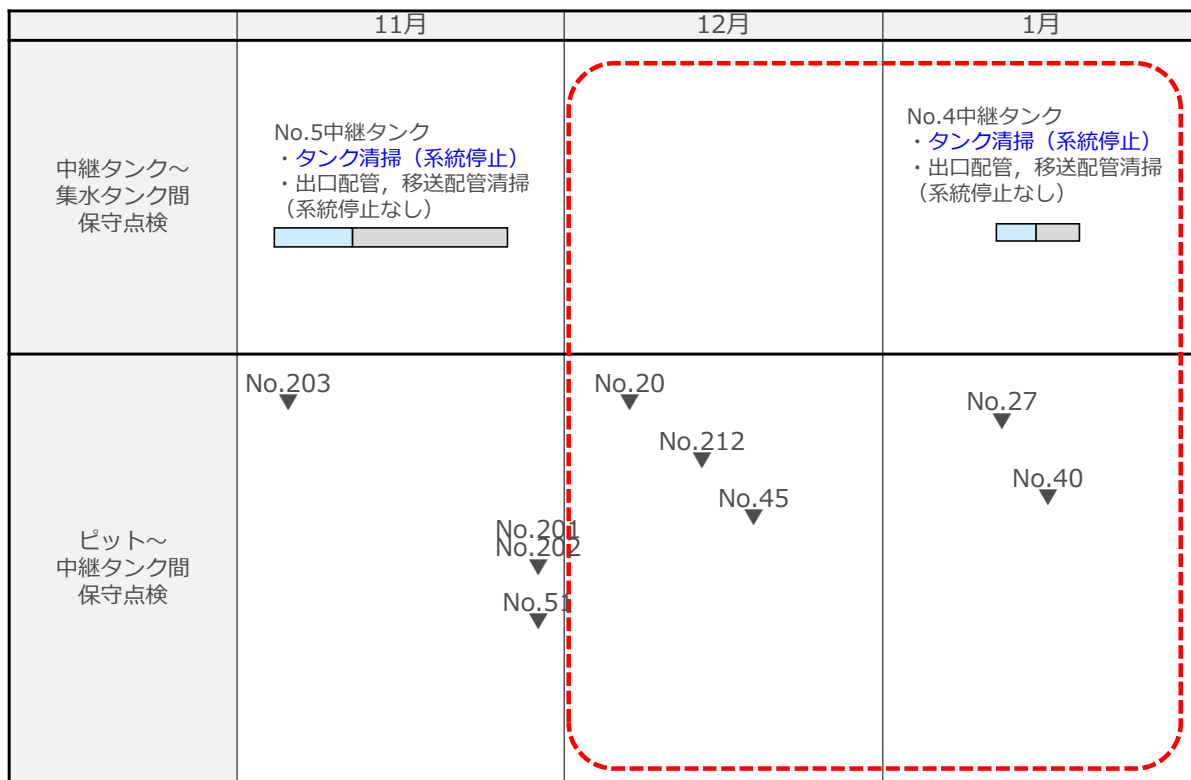


### 水位の凡例

- ：設定水位範囲内 (33基/45基)
- ：設定水位より高め (8基/45基)
- ：停止中(4基/45基)

保全計画		
対象設備	実施内容	実施時期
No.27	ポンプ交換	1/14~1/17
No.40	ポンプ交換	1/20~1/24
No.4中継タンク	タンク・移送配管清掃	1/20~1/31

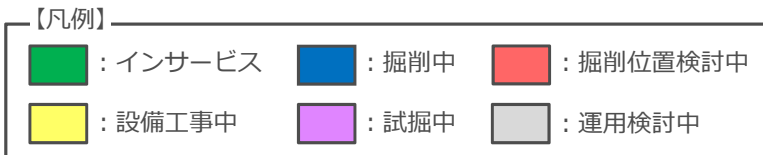
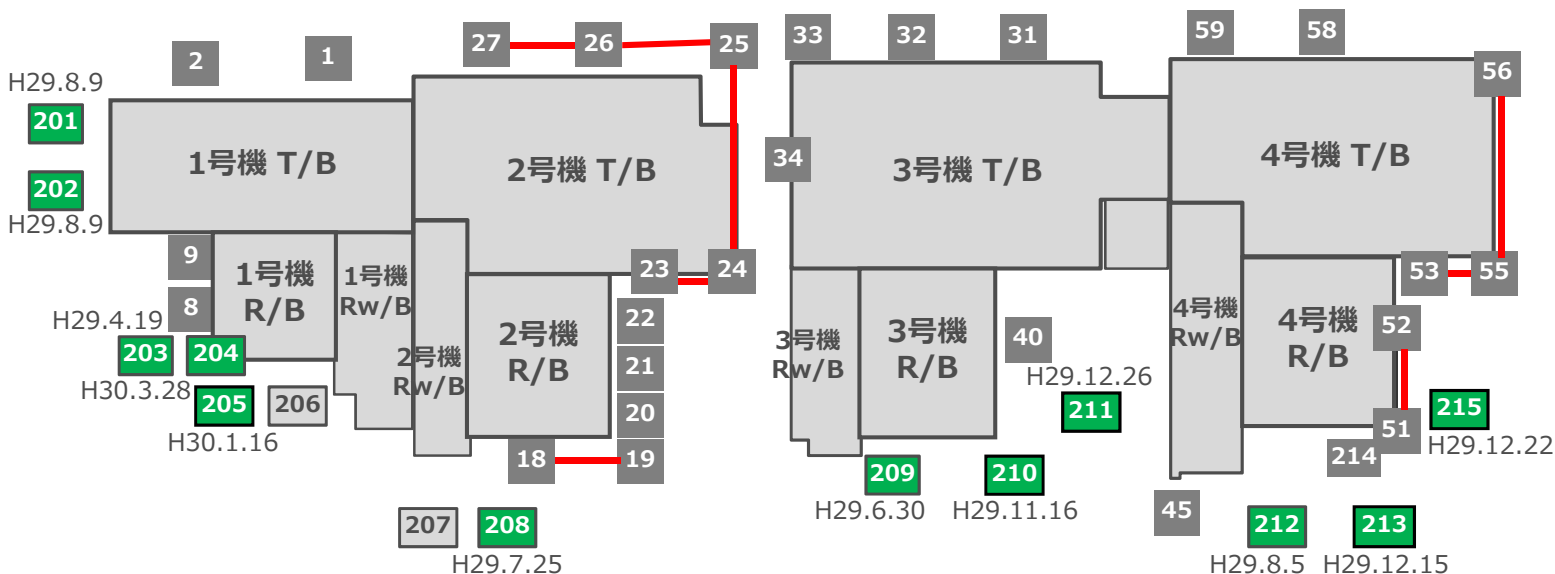
# 【参考3】サブドレン集水設備の稼働・保全スケジュール



揚水ポンプ（交換：▼，清掃：▽） 配管清掃：◆

※上記工程は水位状況等に応じて、変更の可能性有り

# 【参考4】サブドレン集水設備 増強工事の進捗



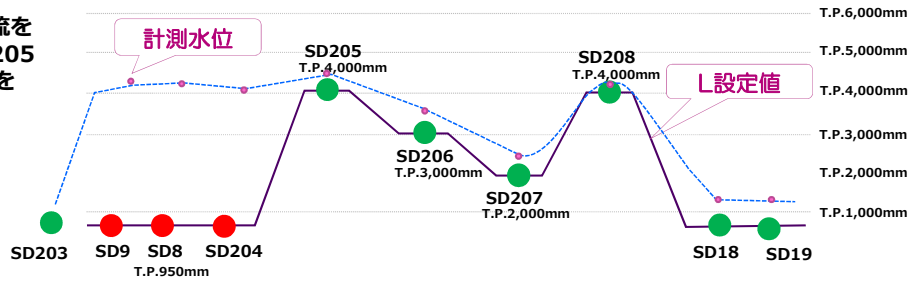
※図中のH○.○.○はインサービス日を表す

# 【参考5】 1 / 2号機山側サブドレンのトリチウム濃度上昇今後の対応

## 【地盤改良工事前】

汚染源と想定した1/2号機 排気筒周辺からの移流を抑制するため、SD206,207を連続で稼働しSD205 208については T.P.4,000mmで壁を作ることを指向。

## 【改良工事前】 (2018.9~10時点)

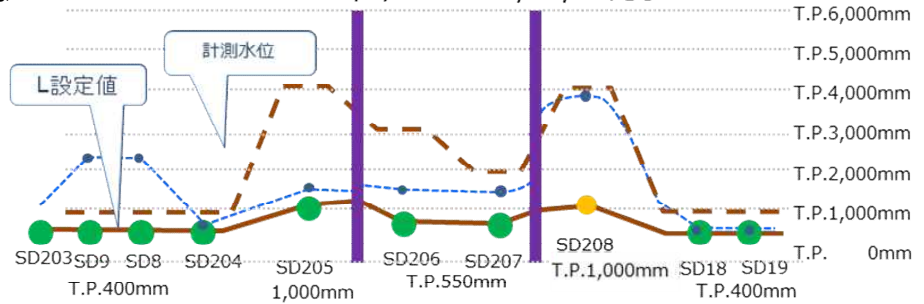


## 【現時点：12/16時点】

- SD206~SD208について地盤改良後の水位応答、水質を検証するため稼働中。
- 現時点で水位応答ならびにH-3濃度に有意な変動は見られていない。

【工事前】	【現在】
SD205 T.P.4,000	⇒ T.P.1,000
SD206 T.P.3,000	⇒ T.P.550
SD207 T.P.2,000	⇒ T.P.550
SD208 T.P.4,000	⇒ T.P.1,000

19/2/6完了 18/11/16完了



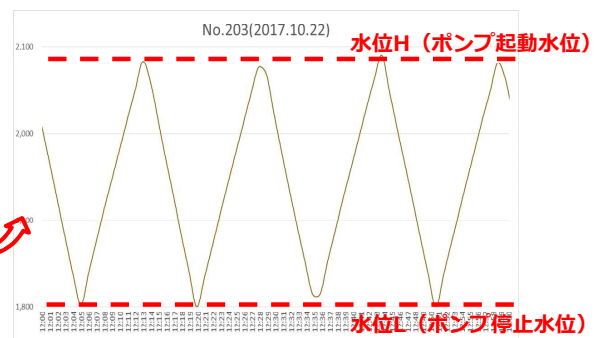
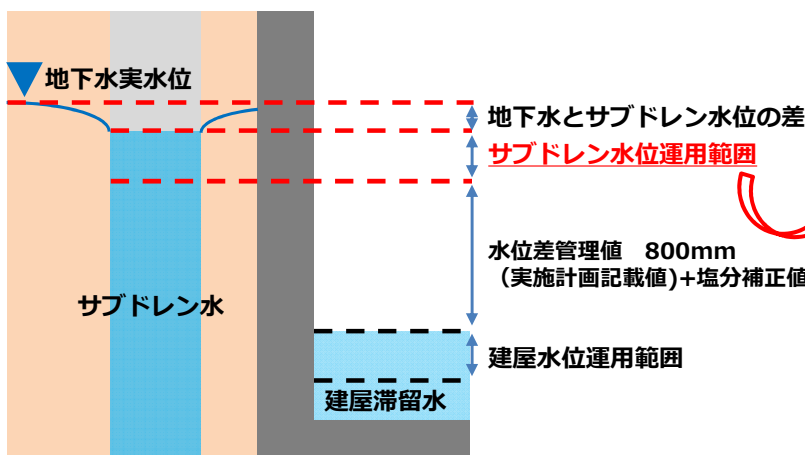
## 【今後の予定】

水質を監視しながら、周辺水位と同等まで段階的に周辺ピット水位まで低下させていく。



# 【参考6】 サブドレンピット水位の運用範囲L~H間の縮小について

- 建屋滞留水が建屋外へ漏えいしないよう、周辺の地下水水位建屋水位より一定差以上に高く維持する水位差管理（サブドレンポンプ停止水位－滞留水ポンプ起動水位間800mm確保）を実施している。
- 実際の水位差としては、水位差管理値800mm+実水位における水位差が上乘せされている。
- サブドレン水位運用範囲を縮小し揚水量を増加させることで、地下水実水位低下及び水位差縮小を図る。
- なお、水位管理値を縮小するものではないため、安全性への影響はない



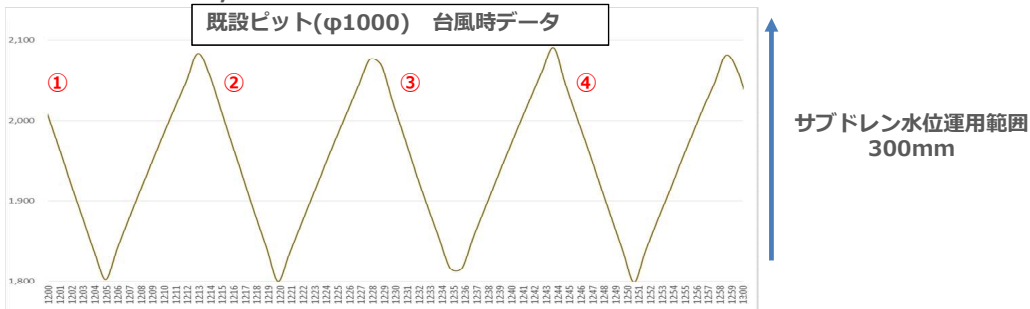
<水位H~L間の設定>	
・既設ピット(φ1000)	: 300mm
・新設ピット(φ 200)	: 500mm

■ 運用範囲の設定根拠

- サブドレン稼働当初に、ポンプの機器保護を目的としてメーカー推奨値である「発停回数10回以下/h」を基準に設定
- 以下の通り、運用範囲の設定をしている。
  - ・ 既設ピット(φ1000) : 300mm ←見直し対象
  - ・ 新設ピット(φ 200) : 500mm ←見直し対象外 (定常時で10回程度発停)

■ 実績確認

- 過去の運用実績より、1時間あたりの発停回数を確認し運用範囲の縮小を検討する。



- 1時間あたりの最大発停回数は、台風襲来時でも4回程度であった。
- 過酷条件である雨季以外の定常期間では、3回程度であった。

■ まとめ

- 定常期間の発停回数を基に、試験的にサブドレン水位運用範囲を200mmに変更する。
- 運用範囲を2/3とすることから、ポンプの発停回数は現状の1.5倍が想定される。
- 今後各種データを確認し、適用拡大を検討する



## ■ 地下水ドレン集水タンク及びT/B移送量(m<sup>3</sup>)

前日0:00より24時間

地下水ドレン	中継タンクA		中継タンクB		中継タンクC		集水タンク移送量合計	T/B移送量合計	移送量合計*
	集水タンク	T/B	集水タンク	T/B	集水タンク	T/B			
12/24	0	0	16	0	44	0	60	0	60
12/25	0	0	15	0	39	0	54	0	54
12/26	0	0	16	0	39	0	55	0	55
12/27	0	0	15	0	41	0	56	0	56
12/28	0	0	16	0	40	0	56	0	56
12/29	0	0	14	0	35	0	49	0	49
12/30	0	0	15	0	33	0	48	0	48
12/31	0	0	14	0	34	0	48	0	48
1/1	0	0	13	0	34	0	47	0	47
1/2	0	0	14	0	30	0	44	0	44
1/3	0	0	14	0	31	0	45	0	45
1/4	0	0	12	0	28	0	40	0	40
1/5	0	0	13	0	28	0	41	0	41
1/6	0	0	13	0	26	0	39	0	39
平均	0	0	14	0	34	0	49	0	49

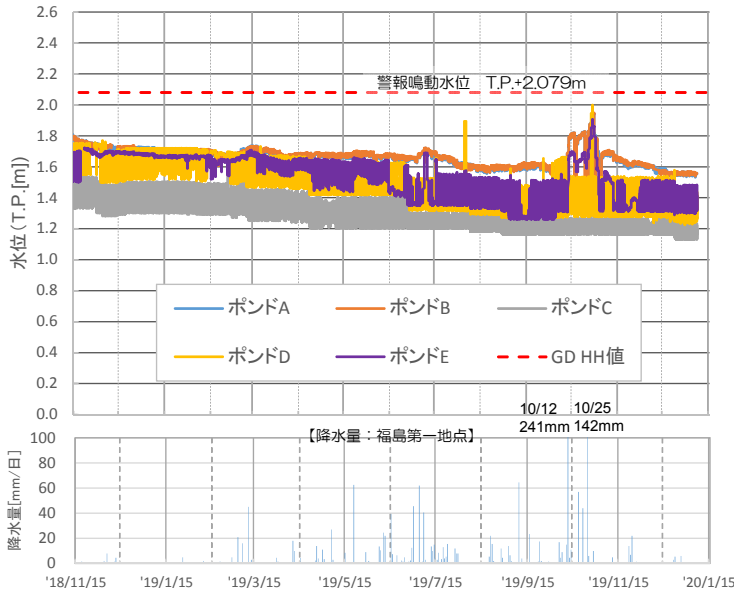
## ■ ウェルポイントT/B移送量(m<sup>3</sup>)

前日0:00より24時間

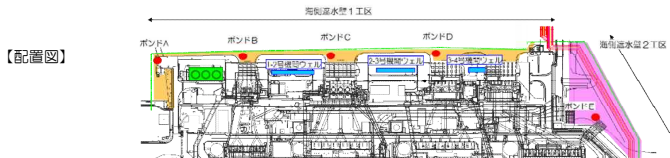
ウェルポイント	#1-2間	#2-3間	#3-4間	合計*
12/24	7	0	0	7
12/25	7	0	0	7
12/26	14	0	0	14
12/27	7	0	0	7
12/28	7	0	0	7
12/29	15	0	0	15
12/30	7	0	0	7
12/31	6	0	0	6
1/1	14	0	0	14
1/2	8	0	0	8
1/3	7	0	0	7
1/4	8	0	0	8
1/5	15	0	0	15
1/6	7	0	0	7
平均	9	0	0	9

※ 合計値は小数点第一位のデータを合計しているため、個々のデータを合計した数値と合計値に差異がある場合があります。

【地下水ドレンポンド・観測井平均水位】

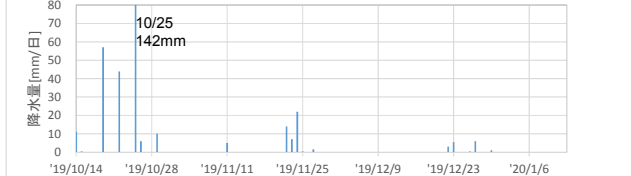


※水位計点検時の水位データは除く。

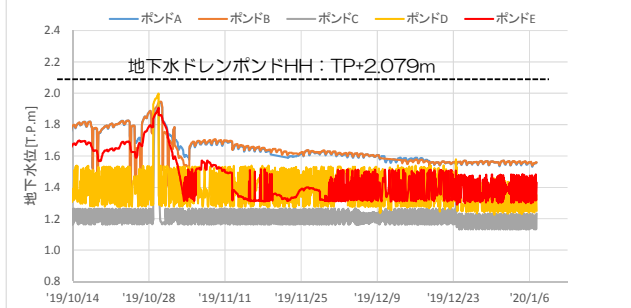


# 地下水ドレン稼働状況および水位変化状況

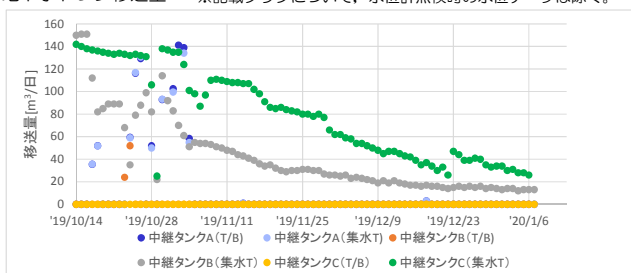
降水量 (福島第一)



地下水ドレンポンド水位



地下水ドレン移送量 ※記載グラフについて、水位計点検時の水位データは除く。



- ▶ 通常時はポンドC~Dを稼働し、ポンドCの設定水位を一番低くして、H3の拡散抑制を継続。
- ▶ 集水タンクのSr濃度上昇抑制のため、サブドレンの稼働状況を踏まえて、各ポンドの設定水位の変更及び流量調整等を都度、実施。
- ▶ また、観測井水位と降雨予報も踏まえ、適宜、ポンドの稼働や観測井からの揚水を実施

▶ 現時点における設定水位及び稼働状況

	H値	L値
ポンドA	T.P.1200mm ~ 1000mm	
ポンドB	T.P.1200mm ~ 1000mm	
ポンドC	T.P.1260mm ~ 1160mm	
ポンドD	T.P.1460mm ~ 1260mm	
ポンドE	T.P.1510mm ~ 1260mm	

【稼働状況】

- 観測井の水位変動状況等に応じて稼働
- 観測井の水位変動状況等に応じて稼働
- 稼働中
- 稼働中 (流量調整を適宜実施)
- 観測井の水位変動状況等に応じて稼働

## ◆ 中継タンク

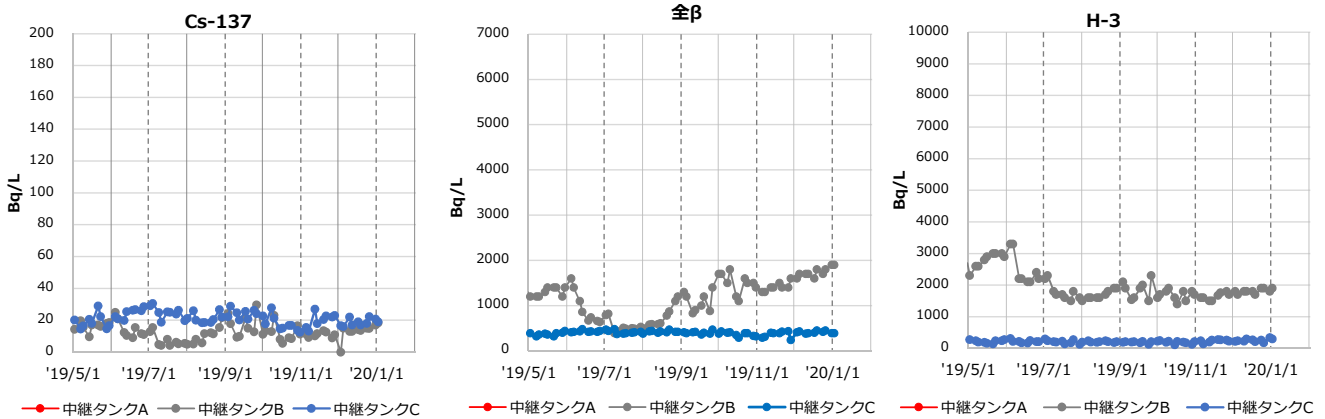
- セシウム137；中継タンクB, Cは10～30Bq/L程度で推移。
- 全β；中継タンクB, Cは, 500～2,000Bq/L程度で推移。
- トリチウム；中継タンクBは, 1,500～2,000Bq/L程度で推移。

(記載データ採取日)  
 中継タンクA；2017/12/8\*  
 中継タンクB, C；2020/1/2

(単位) Bq/L

中継タンク	セシウム137	全β	トリチウム
A	<4.4	3,600	1,800
B	18	1,900	1,900
C	19	390	300

※ ポンドA, B非稼働のため12/8以降サンプリング休止



3

## <参考>地下水ドレン汲み上げ水の水質 (ポンド別)

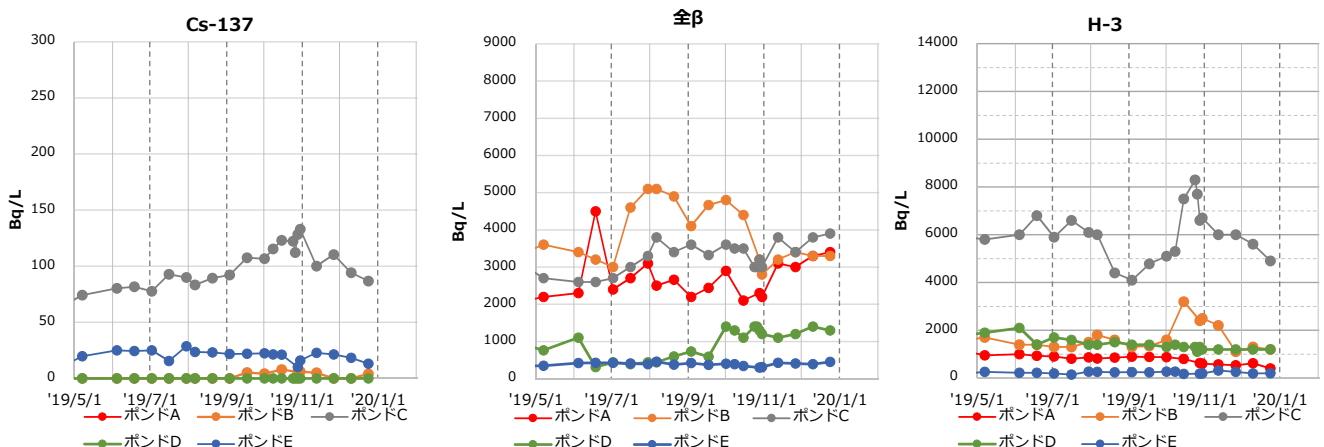
### ◆ ポンド

- セシウム137；ポンドCは, 100Bq/L程度で推移。
- 全β；ポンドA, B, Cは, 3,000～5,000Bq/L程度で推移。
- H-3；ポンドA, B, Dは, 1,000～2,000Bq/L程度で推移。  
ポンドCは, 6,000Bq/L程度で推移。

採取日 12/24

(単位) Bq/L

ポンド	セシウム137	全β	トリチウム
A	<5.2	3,400	400
B	<4.0	3,300	1,200
C	87	3,900	4,900
D	<5.4	1,300	1,200
E	13	450	200



4